

テーマ

子どもの包括的・総合的支援のあり方と羽島ボラ協の精神



講師 **川合 宗次さん**

NPO法人 ぎふ羽島ボランティア協会 事務局長 & 理事長

日時/場所

‘10年8月29日(日) 午後1時30分～
岐阜市北部コミュニティセンター

岐阜市八代1丁目11番13号(TEL:058-233-2110)

よびかけ

いじめ、不登校とひきこもり、非行、さらにいわゆる軽度発達障害など、子どもたちをめぐる困難は、複雑かつ重層的になっている。しかも格差と貧困の広がり、そうした困難を抱えた子どもたちに追い打ちをかけ、将来に「希望」すら持てない子どもや、時には「命」すら脅かされる虐待など深刻な困難を生み出している。

今、子ども支援に関わる私たちに求められているのはワン・ストップ・センターである。つまり、ここに来さえすれば、その後の多様なサポートの入口になるという場である。行政が教育、福祉、保健などのいわゆる縦割りの壁を十分に越えた支援に踏み出せない中で、まずは民間において総合的、包括的支援の形を模索したいと思う。この連続講座は、その模索の第一歩である。

先日、NPO法人「ぎふ羽島ボランティア協会」におじゃまして、理事長の川合さんからお話を伺った。しかし、とても二時間足らずの時間では、その全体像を把握することはできなかった。それは、私自身の経験と想像を越えるような活動の幅と広がりを持ったものだったからである。

ニーズのあるところに必要な事業をつくりだしていく発想の柔軟さ、制度を活かす知恵、しかも、肩の力が抜けているところがなんともすごいところである。

障がい者の生活支援、子どものディケアーや子育てひろば、病児保育、子どもサポートセンター、作業所もある。つまり、障がいのある人もない人も、小さな人も大きな人も、学校へ行っている人も行っていない人も、ひきこもりで悩んでいる人も、どこかに居場所が用意されている。しかも、大勢の職員を抱えながら、理事長の川合さんは、手弁当のボランティアだそうだ。(本職は電気屋さんだそうな)

こんな身近な所にすごい実践があった。羽島ボラ協の活動の一端を伺いながら、川合さんの羽島ボラ協にかける思いと哲学をぜひともお聞きしたいと思っている。(中川)

地域で支える子ども・家庭プロジェクト

◆主催及びお問い合わせ

事務局: **NPO法人ぎふNPOセンター**

Tel 058-275-9739 FAX:058-275-9738

〒500-8384 岐阜市藪田南5-14-12

岐阜県シンクタンク庁舎内

Mail: gifu@npo-jp.net

“連続講座”についてのお問い合わせは、

携帯 080-2625-1471 までどうぞ

担当 **中川 健史**(NPO法人仕事工房ボロ代表)

◆運営協力

NPO法人仕事工房ボロ

Tel 058-337-0701 Fax:058-337-0728

〒502-0817 岐阜市長良福光2658 ふれあいの家・長良



会場 岐阜市北部コミュニティセンター

岐阜市八代1-11-13 (Tel 058-233-2110)

